

「10代のデジタルエチケット CREATIVE AWARD 2025」開催！

2025年9月10日

3年目を迎える「10代のデジタルエチケット CREATIVE AWARD 2025」開催！ デジタルコンテンツとの「正しい付き合い方」を10代が宣言

「知らずに権利侵害」から「意識的な行動選択」へ、修了証で進学サポートも



10代のデジタルエチケット CREATIVE AWARD 2025 キービジュアル

CODAは、コンテンツの正規流通と知的財産権侵害に関する本質的な理解促進を目的に、

- 私たちにとってクリエイターの権利が**なぜ重要な**のか
- コンテンツ産業がどのように**生活に関わっている**のか
- コンテンツを取り巻く諸課題について **どのように解決すればよい**のか

を「10代のデジタルエチケット」として、主体的・自律的に「自分ごと化」して考えるPBL (Project Based Learning*) (※) 型プログラムの提供をしています。その活動の一環として、このたび「10代のデジタルエチケット CREATIVE AWARD 2025」を開催します。

なお、この活動は、経済産業省受託事業の一環として行われます。

※PBL 学習（主体的・対話的な課題解決型学習）とは、生徒が諸課題について実社会に紐付けて主体的に考えるプロセスを支援する、現在欧米を中心に積極的に採用されている教育方法です。

■ 10 代のデジタルエチケット CREATIVE AWARD 2025 について

10 代による海賊版サイトへの安易なアクセスや違法ダウンロード、SNS 上での著作権侵害コンテンツの拡散など、無意識で行われる若い世代のデジタルコンテンツとの付き合い方が深刻化する中、CODA は、デジタル社会の中心で生活する 10 代を対象とした「10 代のデジタルエチケット CREATIVE AWARD 2025」を開催します。

本アワードは今年で 3 回目を迎えるデジタル上でのソーシャルエチケットの意識を高めることを目的としたクリエイティブ作品コンテストです。「デジタル社会を自由に、正しく楽しむ世界を守るために、自分自身がどう行動するか・行動していきたいか」を 10 代自らが考え、好きな表現方法でクリエイティブ作品として発信します。

【2025 年度の新設ポイント】

修了証の発行開始

2025 年度より、「デジタルエチケットプログラム」受講後のアワード応募者に修了証を発行。総合型選抜入試や大学進学時のポートフォリオとして活用可能です。

※修了証の発行対象は、今年度より一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構（CODA）と学校が連携して実施したプログラムを受講した方に限ります。

※連携プログラムの実施にご関心のある学校は CODA までお問い合わせください。

お問い合わせは[こちら](#)

※個人での応募のみの場合は、修了証の発行はできませんので、あらかじめご了承ください。

※修了証の発行は進学を確約するものではございません。

過去受賞者の実績

過去に開催された 10 代のデジタルエチケット AWARD の受賞者からは、「プログラムへの取り組みやアワードでの受賞経験が海外進学に大いに役立った」との声が寄せられています。近年、入試制度の変化により総合型選抜（AO 入試）の重要性が増しており、特に海外大学入試では課外活動が高く評価される傾向にあります。

■ 応募概要

【募集テーマ】 Our Place, Our Etiquette 私たちのデジタルエチケット宣言

【応募資格（一部抜粋）】

- ・ 2026年3月末時点で13歳～2025年4月1日現在で19歳の方
- ・ 「10代のデジタルエチケットプログラム」をYouTubeで受講していること
※プログラムは [YouTube](#) からどなたでも受講いただけます。

【審査対象】

- ・ オリジナルの著作物
- ・ 作品の背景や想像の過程がわかるメモ、エスキース、スケッチなど（様式自由）
あるいは作品のねらいや効果を説明した書面（指定の様式）
※詳細な応募条件と規約については「10代のデジタルエチケット CREATIVE AWARD 2025」[特設サイト](#) からご確認ください。

【応募可能期間】2025年9月～2025年11月30日（日）23:59（JST）まで

【審査結果発表】2025年12月下旬 10代のデジタルエチケットアワード2025特設サイトにて発表

※詳細な応募条件、規約については「10代のデジタルエチケット CREATIVE AWARD 2025」[特設サイト](#) からご確認ください。

■ 賞と特典について

本アワードでは、「Our Place, Our Etiquette 私たちのデジタルエチケット宣言」というテーマのもと、自分たちが思うデジタル社会やコンテンツとの「心地よいつきあい方」を、身近な場所である自分たちの学校や家庭、そのほかの居場所から考え、発信する作品を表彰します。

すべての受賞作品に、オリジナルトロフィーを授与します。また受賞者と入賞者には賞状が贈られます。さらには、受賞作品は審査員からのコメント、特設サイトや各種メディアで紹介されます。

【各賞一覧（2025年度）】

Our Etiquette 賞（最優秀賞）

Creative Expression 賞

Kindness 賞

Creator Respect 賞（CODA 賞）

Future Impact 賞

【特典】

- 全受賞作品にオリジナルトロフィー授与
- 受賞者・入賞者に賞状贈呈
- 審査員コメント付きで特設サイト・各種メディアで紹介

【受賞者特別特典】

キャッチコピーからビジュアルまでの一連の制作プロセスを体験できる特別プログラム

- プロのクリエイティブディレクター（田中淳一氏）による特別講座
観光映像グランプリ受賞、グッドデザイン賞受賞展のクリエイティブディレクターが直接指導。全国40都道府県超でヒット作品を手がけるプロの技術とアイデア発想法を学び、実際にコピーライティングを体験できる貴重な機会。
- プロのキャラクターデザイナー（水谷恵氏）による啓発ポスター制作
特別講座で受賞者が作成したコピーをもとに、ゲーム『ポケットモンスター』シリーズで一部のキャラクターデザインを担当し、親しみやすくかわいいポケモンのデザインで高い評価を得ているプロのキャラクターデザイナーが本格的な啓発ポスターを制作。考えたメッセージが実際に社会で使われる啓発ポスターとして生まれ変わり、デジタルエチケット普及活動で全国に発信されます。

■ 審査員（順不同、敬称略）

審査は、教育・著作権・クリエイティブなど各分野の専門家による審査会形式で実施し、それぞれの視点から、作品のテーマ性・表現力・共感力などを評価し、総合的に審査します。



クリエイティブディレクター
田中 淳一氏

2014年POPS設立。40都道府県超でシティプロモーション、観光、移住定住などの自治体案件や地域企業のブランディング、商品プロモーション、クリエイティブコンサルその他、大手企業のソーシャルグッドプロジェクト、2015-17グッドデザイン賞受賞展のクリエイティブディレクター、観光庁や文化庁の有識者コーチ、東北芸術工科大学客員教授も務める。観光映像大賞・グランプリ、消費者が選んだ広告コンクール・グランプリなど国内外受賞歴、審査員&講演歴多数。著書に「地域の課題を解決するクリエイティブディレクション術」。



前田 哲男氏

87 年より弁護士として活動し、2002 年から 2022 年まで文化審議会著作権分科会の専門委員・臨時委員を務める。著作権法を中心とするエンターテインメント・ビジネス関係法務などを行っている。



野田 佳邦氏

大分県立芸術文化短期大学 情報コミュニケーション学科准教授。大阪大学大学院情報科学研究科を修了後、特許庁で IT 分野の特許審査業務に従事。2015 年より大分県で知的財産教育、情報モラル／リテラシー教育に関する活動を展開している。2016 年より弁理士登録。



STEAM JAPAN 代表理事／
(株)Barbara Pool 代表取締役
井上 祐巳梨氏

2018 年、地方創生×クリエイティブ人材育成プログラムをエリア拡大実施。翌年、(株)Barbara Pool にて STEAM 事業部を立ち上げ、WEB メディア「STEAM JAPAN」の編集長に就任。同時期に、経済産業省『「未来の教室」実証事業』に採択。一般社団法人 STEAM JAPAN 設立、代表理事に就任。地域×クリエイティブ／STEAM をテーマに全国各地で地域創生プロジェクトに携わり、次世代 STEAM 教育事業を推進中。

■ 「10 代のデジタルエチケット」PBL 型プログラム学習について

「どうすればデジタルエチケットを守れるのか？」をテーマに、コンテンツを取り巻く諸課題について「なぜ問題なのか」「どうしたらいいのか」を実社会に紐付け、自分ごと化して理解し学べる PBL 型の無料プログラムです。オフライン、オンラインどちらにおいても受講可能な内容で、個人の受講にもおすすめです。プログラム詳細および教材は、「10 代のデジタルエチケット」[特設サイト](#)よりご覧いただけます。

プログラム監修：一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構（CODA）

一般社団法人 STEAM JAPAN

協力：経済産業省

■ 関連サイト

- ・ 「10代のデジタルエチケット CREATIVE AWARD 2025」特設サイト
<https://digital-etiquette-japan.go.jp/award2025/>
- ・ 「10代のデジタルエチケット」特設サイト
<https://digital-etiquette-japan.go.jp>
- ・ 「10代のデジタルエチケット」教材動画（YouTube）
<https://youtube.com/playlist?list=PLAUd8-BxsNuEijpaboQY5XHHYUTED84FA&si=gc8A1rx5A6RLHM7c>
- ・ CODA YouTube 公式アカウント
<https://www.youtube.com/@coda541/featured>

CODA について

CODA（一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構）は、2002年に日本コンテンツの海外展開の促進と海賊版対策を目的として、経済産業省と文化庁の呼びかけで設立されました。音楽、映画、アニメ、放送番組、ゲーム、出版などの日本が誇るコンテンツは、日本の国際プレゼンス向上や経済成長の一翼を担っています。デジタル技術の普及が進む今日、巧妙化する著作権侵害から日本のコンテンツ産業を守り、その発展を図ることが一層重要になっています。その中でCODAは、国内外の関係政府機関、団体、企業と叡知を結集し、権利侵害への直接的、間接的な対策や広報啓発活動などに取り組むことで、オンラインを含めた海賊版の抑止や摘発に貢献しています。具体的な事業内容は <https://coda-cj.jp/activity/> から。